



2010年度広島市当初予算案

2010年度当初予算案は、今年度から着手している公立学校教室へのクーラー設置のための担当職員の配置、保育園の新設・増築等で398人の定員増、長年の懸案であった「黒い雨」降雨地域拡大に向けた実態解明にとりくむなど、市民の要望が具体的な形で前進しています。

また、党市議団が要望してきた、重度障がい者が入院した際、医師や看護師と意思疎通を図るための「コミュニケーション支援事業」を今年10月から実施。児童養護施設を出た15歳から20歳までの子どもや、居場所のない子どもたちを支援する「自立援助ホーム」の設置検討の予算が計上されました。

市は、財政難を理由に市民・関係者の声を無視して、保育園の民営化や小学校の統廃合を進め

ていこうとしています。

しかし、その一方で、今年春に完成予定の広島駅北口の再開発事業には、資材高騰を理由に事業者負担金分(合計で約16億円)を国が補助し、開発ビル間をつなぐ豪華横断歩道橋を市が建設。さらに新年度予算で、保留床取得予定者が負担すべき「保留床取得費用」を、「資金調達が困難」を理由に40億円の無利子の貸付を行う予算が計上されています。大企業へ湯水のように税金を投入するやり方は大変問題です。

日本共産党市会議員団は、新政権の進める「構造改革」の下で、今こそ地方自治体の役割を發揮すべきと、市民生活を守るため奮闘していきます。



歳入

- 一般会計の予算規模は、約5,916億円。前年度比7.3%増で6年連続プラス予算となっています。

- 市税収入は、約1,958億円で前年度当初予算に比べ約101億円の減収となります。これは、115億円の臨時財政対策債でカバーすることになります。

※臨時財政対策債—地方交付税を配分するための国の財源が不足しているため、その不足分を地方が臨時財政対策債(借金)で肩代わりし、その返済額を国があとから地方交付税に上乗せします。

- 国庫支出金は、子ども手当や高校授業料無償化に伴う国の負担分や生活保護受給世帯の増により、前年度より約203億円の増で1,093億円。(＋22.8%)

- 市債(借金)は、臨時財政対策債を含め722億9千万円。一般事業債は特別支援学校の建替えや西風館(安佐南火葬場)建設など約65億円。

- 市債実質残高は、66億円マイナスの約7,294億円となる見込みです。ただし、市債残高そのものは、9,964億円です。

歳出

- 民生費は、1,616億円で構成比率は27.3%。前年度当初予算より263億円増ですが、そのうち子ども手当分が225億円で、生活保護費の増加分が53億円です。

- 土木費は、前年度より35億円減の1,008億円。構成比率は17.0%。

- 公債費は608億円で、教育費の537億円より70億円も多く、過去の大型開発の借金が教育費にも影響しています。



主要事業について紹介します

新 新規事業

拡充 拡充されたもの

実現 要望実現したもの

被爆者・平和行政

新 2020核廃絶広島会議(仮称)の開催	3,200万円
新 平和記念資料館再整備事業	1億1,210万円
新 原爆被爆者動態調査事業	954万4千円
実現 黒い雨降雨地域拡大のための気象シミュレーション検討	1,790万円
・折り鶴の保存・展示	840万円
・2020年オリンピック招致検討事業	2,569万円
・原爆ドームの保存整備	793万3千円
・平和記念資料館学習ワークブックの作成	308万4千円

子育て

子ども条例の制定に向けた取り組み	336万円
実現 自立援助ホームの設立検討	42万2千円
新 父子家庭への児童扶養手当支給	5,979万円
児童館の整備(口田・庚午)	1億1,630万円
新 民間保育園における子育て支援事業	1億3,397万円



医療・介護

拡充 節目年齢歯科検診事業…新たに30歳を追加	2,604万円
拡充 在宅寝たきり者訪問歯科診療事業…新たに通院が困難な身体障がい者・児を対象に。	1,792万円
新 安佐地区夜間救急診療所の整備	1億7,624万円
新 高齢者の利用しやすい移動交通手段の開発促進・普及・安全な移動交通環境整備	450万円
小規模福祉施設スプリンクラー整備補助	1億9,452万円
実現 国民健康保険被保険者証の個人証化	6,903万円
新 緊急患者のたらい回しをなくすため市民病院の緊急医療機能の強化を協議	1億2,800万円
拡充 日本脳炎予防接種の自己負担を廃止	2億976万1千円

障がい児・者

実現 重度障がい者タクシー利用券の額面を500円に統一し、1回の使用枚数の制限を撤廃	2億8,596万円
実現 視覚障がい者への郵便物に音声コード貼付普及・啓発事業	10万5千円
実現 重度障がい者入院時コミュニケーション支援事業	96万3千円
障害者居住サポート事業	157万8千円
新 視覚障がい児の職域拡大支援事業	150万7千円
精神障がい者地域移行支援事業	332万1千円



教育

小・中学校校舎耐震化対策	19億8,140万円
小・中学校空調設備整備	2億6,185万円
特別支援学校建替…用地再取得、建設工事等	39億1,485万円
公立大学法人への運営費の交付	31億4,472万円
新 英語教員海外留学研修	420万9千円
新 「命の大切さを伝える教育推進プログラム」の策定	42万3千円
子どもたちの平和学習推進事業	236万4千円
図書資料の充実	1,500万円
拡充 少人数教育の推進(小1～中1まで35人以下学級)	9億4,779万円
拡充 教育扶助(就学援助)の対象を国立・県立・私立の児童・生徒も加える	19億1,809万円



環境・住宅

新 民間建築物省エネ設備改修支援補助	1億2,000万円
新 地域照明LED化普及促進モデル事業	7,811万円
新 家庭系可燃ごみの排出袋モデル実験事業	95万6千円
不法投棄防止対策	1,899万1千円
家庭用生ごみ処理機等購入補助	8,000万円
新 民間賃貸住宅を活用した高齢者住替え等の支援	504万円
民間建築物の耐震化の促進	2,799万円

経済

拡充 中小企業一般振興融資等預託貸付け	1,024億5,860万円 (+227億円)
新 里山活性化支援アドバイザーの派遣	
空き家を活用した農山村地域への定住促進モデル事業	10万円
里ライフ創造シンポジウム(仮称)の開催	40万4千円
ふるさと農村活性化支援事業	29万6千円
森づくりの推進	1億3,100万円
地域ものづくり技能伝承支援事業	3,475万円

交通・建設

西風館整備(葬儀火葬場)…2010年度開設	31億551万円
旧市民球場解体工事	1億3,800万円
地域主体の乗合タクシー導入支援	210万8千円
実現 白島新駅の整備	2億1,694万円
新 旧市民球場物品の有効活用	1億5,023万円
広島高速道路の整備	61億2,900万円
国・県施行港湾整備事業負担金	12億7,396万円

その他

新 市議会予算特別委員会のインターネット中継	560万円
区役所庁舎の耐震化…中・南・安佐北区役所の耐震改修	4億9,271万円
携帯電話基地局整備(安佐北区・佐伯区)	1億8,165万円

課題・問題とする予算

広島駅自由通路等整備の促進	3億1,694万円
高速5号線温品ジャンクション部高架工事等	8億円
新 若草町地区市街地再開発一保留床取得資金の貸付	40億円
新 事業見直し等検討委員会の設置	472万円
納付推奨等に係わるコールセンターの運営 (市税・介護保険料・後期高齢者医療保険料・保育料)	8,289万円
公立保育園の民間移管	421万円
新 2020年オリンピック招致検討事業支援	186万3千円
市立小・中学校の適正配置計画の推進	20万1千円

事務事業の見直しにより廃止・縮小されたもの

民間保育園運営改善費助成条件の見直し	→	2,375万円の減少
学校体育施設開放事業、運営委員会当たり	5万5千円 →	4万2千円に縮小
理科教育設備の整備	→	186万4千円 廃止
中学校演劇鑑賞推進事業	→	280万9千円 廃止
政務調査費の交付月額、34万円を30万円に縮小	→	2,852万6千円

2010年度から供用開始する施設等

施設名	開設時期	事業費
安佐公民館	2011年1月	1億7,800万円
特別養護老人ホーム「広島八景園」	2011年3月	2億4,500万円
特別養護老人ホーム「やすらぎの里広域公園」	2011年3月	3億2,700万円
あい保育園祇園	2010年4月	1億2,500万円
西風館(葬儀火葬場)	2011年3月	51億5,800万円
春日野小学校	2010年4月	19億3,000万円
安佐地区夜間救急診療所	2011年3月	1億6,400万円
障害福祉サービス「第三もみじ作業所」	2011年4月	1億1,600万円